Combi

コンビ ニンナナンナ ラキュピットファースト/ラキュピット

Baby Soft Carrier

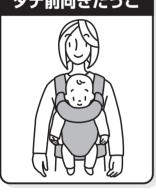
取扱説明書

ヨコだっこ

タテ対面だっこ

※ヨコだっこは、ラキュピットファーストタイプのみ可能です。

タテ前向きだっこ

おんぶ

子守帯を３年以上ご使用の場合、生地等の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。
不測の事態に備えてご使用をお控えください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。
コンビホームページ→お問い合わせ→取扱説明ビデオ視聴
http://www.combi.co.jp/soudan/manual/DVD/index.html

もくじ

品質保証書付

注意

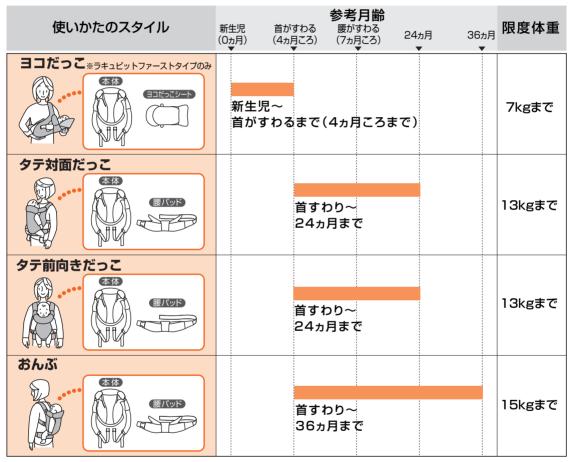
- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

ご使用の前に

このたびはニンナナンナ ラキュピットシリーズをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物のときなどに使用するための１人用子守帯です。ご使用の前に、５～６ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

- ラキュピットファーストタイプは、
  お子さまを**「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」**できます。
- ラキュピットタイプをお買い上げのお客様へ
  - お子さまを**「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」**できます。
  - この取扱説明書のうち、「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」に関する内容をよくお読みの上、正しくお使いください。(使いかたについては、14～31ページをお読みください)

■使用できるお子さまの月齢について（お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります）

使いかたのスタイル	参考月齢（新生児(0ヵ月)／首がすわる(4ヵ月ころ)／腰がすわる(7ヵ月ころ)／24ヵ月／36ヵ月）	限度体重
ヨコだっこ※ラキュピットファーストタイプのみ（本体・ヨコだっこシート）	新生児～首がすわるまで(4ヵ月ころまで)	7kgまで
タテ対面だっこ（本体・腰パッド）	首すわり～24ヵ月まで	13kgまで
タテ前向きだっこ（本体・腰パッド）	首すわり～24ヵ月まで	13kgまで
おんぶ（本体・腰パッド）	首すわり～36ヵ月まで	15kgまで

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。
※ヨコだっこ使用時のお子さまの身長は約64cmまでが目安です。
※腰ベルトサイズは120cmまでです。
※本製品における新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上のお子さまを示します。

■お子さまの乗せおろしについて

ソファや布団、ベッド、床の上など、安定した安全な場所で行ってください。

パッケージの内容をお確かめください。

パッケージには、次のものが入っています。ご使用の前にお確かめください。

○本体
○ヨコだっこシート（ラキュピットファーストタイプのみ付属。開封時は、本体にセットされています）
○腰パッド（開封時は、ラキュピットタイプのみ本体にセットされています）
○取扱説明書（本書）　○かんたんガイド

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□ 枠（2～4ページ）の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意をうながす内容があることをお知らせするものです。

⚠警告

【とめる】 ご使用の際は、以下のバックル類を必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

●ヨコだっこするとき

- ヘッドサポートバックル（左右）
- ホールドバックル
- ヨコだっこ用バックル（左右）

●タテだっこ（対面・前向き）するとき

- ヘッドサポートバックル（左右）
- ホールドバックル
- タテだっこ用バックル（左右）
- サイドホック
- サイドファスナー
- 背中バックル

●おんぶするとき

- ヘッドサポートバックル（左右）
- ホールドバックル
- タテだっこ用バックル（左右）
- サイドホック
- サイドファスナー

【調節する】 ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

●ヨコだっこするとき

- わきベルト（左右）
- ホールドベルト

●タテだっこ（対面・前向き）するとき

- わきベルト（左右）

※ 左右のわきベルトを、同じ長さにそろえてください。

●おんぶするとき

- わきベルト（左右）

※ 左右のわきベルトを、同じ長さにそろえてください。

つづく

安全にお使いいただくために

⚠警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。

だっこするときは、必ず手で支えてください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、ヘッドサポートを折って使うときには、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。

次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。
●体重7kg超のお子さま
●ヨコだっこシートのヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
●寝返りができるお子さま

ヨコだっこするときは、お子さまの頭部をお尻よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。
不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

ヨコだっこするときは、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

タテだっこやおんぶのときは、必ずヨコだっこシートをはずしてください。お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。

首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

お子さまの顔が使用者の身体に密着する、あごが胸につくほど首が強く曲がるなど、気道を塞ぐ状態にならないよう注意してください。

タテだっこやおんぶの際、腰パッドでお子さまの足をはさまないように注意してください。
お子さまの足を圧迫するおそれがあります。

タテだっこの際、お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまうときには、ご使用をおやめください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

⚠警告

タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。
(17ページ参照)
あたったまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

ヨコだっこシートを取り付けるときは、必ずわきベルトをベルト通しに通してから、ヨコだっこ用バックルにとめてください。
通さずに取り付けると、バックルが破損した場合に、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠注意

お子さまの様子をときどき確認してください。異常が見られたときには、すぐに使用をおやめください。

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。

使用者が胸に痛みや不快を感じたときは、フロントベルトの使用を中止してください。
乳房を圧迫するおそれがあります。

はずした状態のバックルの開口部に、お子さまが指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、けがをするおそれがあります。
製品を使用しないときは、バックルをとめた状態で保管してください。

お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。破損・故障の原因になります。
※歩行時以外での使用はできません。

ヨコだっこやタテだっこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

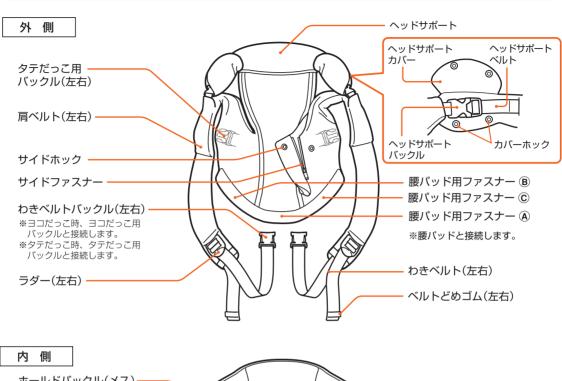
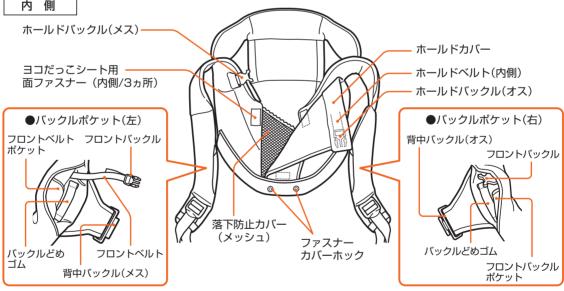
使用者が腰に痛みや不快を感じたときは使用を中止してください。

製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が1ヵ所でも破損したときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

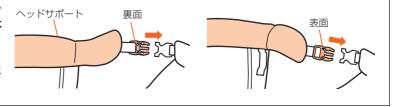
製品を火の近くや屋外に放置しないでください。
熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

製品の改造や不当な修理をしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ

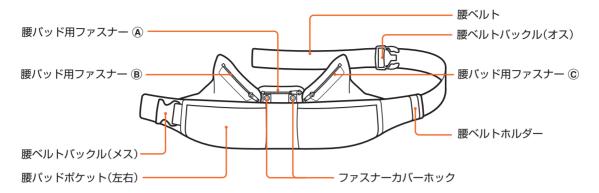
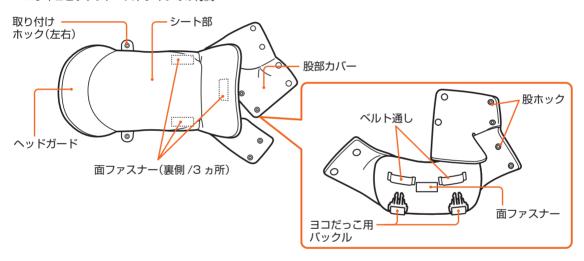
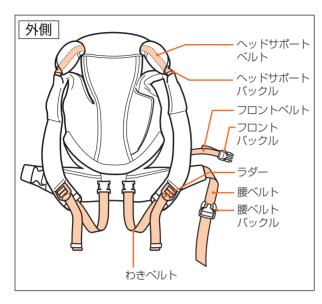
子守帯（本体）

※背中バックルは、タテだっこ時のみ使用します。
※フロントバックルは、おんぶ時のみ使用します。

ヘッドサポートバックルは、ヘッドサポートベルトがねじれないようにとめます。

ヘッドサポートバックル(オス)は、裏面でも表面でもバックル(メス)に差し込むことができます。

腰パッド

ヨコだっこシート

※ラキュピットファーストタイプのみ付属

各部の調節方法

ベルトの長さを調節する方法

● 短くするときは、ベルトの余りを引っぱります。

● 長くするときはラダーまたはバックルをおこしながら、わきベルトを引き戻します。

●わきベルトは、タテだっこ・おんぶ時には子守帯を装着したままでも調節することができます。
調節方法は、17ページの手順6をご覧ください。

ヘッドサポートベルトを調節するのは、このようなときです。

●タテだっこやおんぶの際、お子さまの頭まわりの寸法を調節する。
●ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にして使用する。

ヘッドサポートベルトの余りは、図のようにヘッドサポートの内側に収納できます。

●タテ対面だっことおんぶ時は、ヘッドサポートカバーからベルトがはみ出ない長さで使用する。

わきベルトを調節するのは、このようなときです。

●お子さまの高さ調節。
●使用者の身体にフィットさせる。
●ヨコだっこ時、お子さまを良いアングルに調節。

わきベルトの余りは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

腰ベルトを調節するのは、このようなときです。

●使用者の身体にフィットさせる。
お子さまを乗せる前に、身体にフィットするように長さを調節しておきます。

腰ベルトの余りは、図のように腰ベルトホルダーに差し込んでとめることができます。

ヨコだっこの準備 ※ラキュピットファーストタイプでヨコだっこする場合にお読みください。

各部の状態を確認する

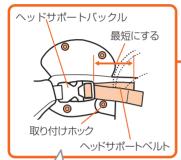
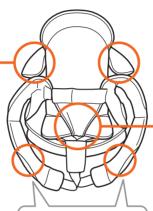
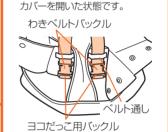
開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、必ず下記のチェックポイントで各部の状態を確認してください。

警告 ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

チェック✔ポイント

※カバーホックをはずして確認後、ヘッドサポートベルトの余りをヘッドサポートの内側に収納し（7 ページ参照）、左右のカバーホックをとめてヘッドサポートカバーを閉じてください。

※股ホックをはずして確認後、股ホック（4 ヵ所）をとめて、股部カバーを閉じてください。（13 ページ手順 2、3 参照）

※この図は、股ホックをはずし、股部カバーを開いた状態です。

- ヘッドサポートバックル（左右）はとまっていますか?
- 取り付けホック（左右）はとまっていますか?
- ヘッドサポートベルト（左右）の長さは最短になっていますか?

背中バックルとフロントベルト、フロントバックルは収納された状態ですか？（27、31 ページ参照）

わきベルトバックルは、ベルト通しに通した状態でヨコだっこ用バックルにとまっていますか？

警告 ベルト通しに通さずに取り付けると、バックル破損時にお子さまが落下するおそれがあります。

わきベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうようにわきベルトの長さをラダーで調節します。

1 左右の肩ベルトを重ねて、子守帯を肩からわきへ斜めにかけます。

2 ラダーでわきベルトの長さを調節し、高さとアングルを確認します。わきベルトの長さの目安は、下記を参照してください。

●高さの調節

子守帯の位置が低いときは
わきベルトを短くします。

子守帯の位置が高いときは
わきベルトを長くします。

●アングルの調節

使用者の身体に近い方のわきベルトを短めに調節（10cm程度）すると、お子さまをバランスよくだっこできます。

※開封時は、わきベルトが左右同じ長さにセットされています。必ずご使用の前に調節してください。

良い状態	悪い状態
○ お子さまが片側へ寄らないよう、わきベルトを調節してください。	✕ 角度が傾き、お子さまが片側へ寄ってしまいます。

ヨコだっこで使うには

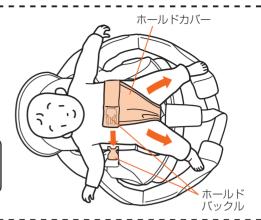
・左だっこ・右だっこ、どちらでもお使いいただけます。
ここでは、左だっこで説明しています。

ヨコだっこ

新生児(0ヵ月)〜首すわり(7kg・4ヵ月ころ)まで

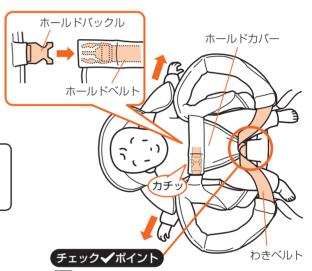
1 ヨコだっこシートにお子さまを乗せ、お子さまの両足をホールドカバーの左右に通す

安全な場所に子守帯を広げ、ホールドバックルをはずしたあと、ヨコだっこシートにお子さまを寝かせます。

⚠警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 ホールドバックルをとめ、両腕を肩ベルトとヘッドサポートの間に通す

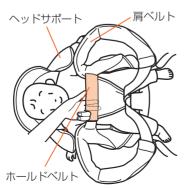
ホールドカバーを閉じて、ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

⚠警告 ホールドバックルを確実にとめてください。
とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

チェック✔ポイント

☑ 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか?

3 ホールドベルトの長さを調節する

●ホールドベルトの長さの目安

ホールドベルトの長さは、大人の指(第2関節)が2〜3本入るくらいが目安です。

●ホールドベルトの調節方法

「ベルトの長さを調節する方法」7ページをご覧ください。

お子さまの腕や足は出さなくても、ヨコだっこができます。

4 お子さまをだっこする

左右の肩ベルトをあわせ、肩からわきへ斜めにかけます。
上体を起こし、お子さまの頭部とお尻の部分を手で支えます。
※お子さまが良いアングルになるよう、わきベルトを調節してください。
（8ページ参照）

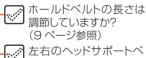
●お子さまをヨコだっこするときは、図のように必ず後頭部を手で支えてください。

⚠警告 左記の内容を守らないと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

⚠注意 左記の内容を守らないと、身体を前に傾けたときに使用者の身体から離れ、不安定な状態になります。

5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

警告 下記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。また、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

- ホールドバックルは、確実にとまっていますか?
- ホールドベルトの長さは調節していますか?（9ページ参照）
- 左右のヘッドサポートベルトの長さは、最短になっていますか?（8ページ参照）

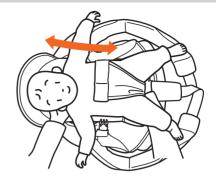
- お子さまの頭の位置はお尻より高くなっていますか?
- ヨコだっこ用バックルはベルト通しを通して、とめていますか?

- お子さまの頭部を支えている手の角度が、90°以内になっていますか?
- ヨコだっこシートは良いアングルになっていますか?（8ページ参照）

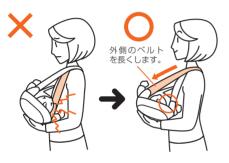
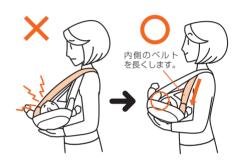
つづく

ヨコだっこで使うには

お子さまの顔に肩ベルトがあたってしまう場合には

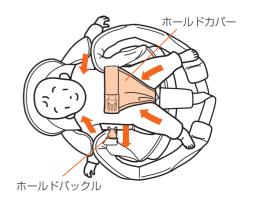
肩ベルトがあたらないように、お子さまの寝かせ位置を調節してください。

肩ベルトがあたらないように、わきベルトの長さを調節してください。(8ページ参照)

●内側のベルトがあたる場合は、外側のベルトを長くしてください。

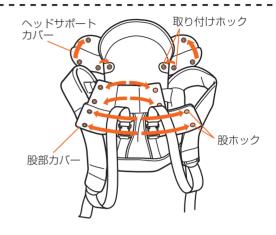
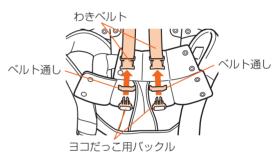
●外側のベルトがあたる場合は、内側のベルトを長くしてください。

ヨコだっこのはずしかた

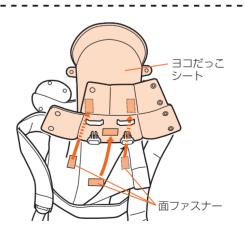
1 お子さまを寝かせ、肩ベルトをはずす

お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩ベルトをはずします。

2 ホールドバックルをはずし、ホールドカバーを開く 両足と両腕を子守帯から抜いて、お子さまをおろす

ヨコだっこシートのはずしかた

開封時はヨコだっこシートがセットされていますが、洗濯をするときやタテだっこ・おんぶをするときには、次のようにはずしてください。

1 **左右のヘッドサポートカバーを開き、取り付けホック（左右２ヵ所）と、股部カバーの股ホック（4ヵ所）をはずす**

2 **ヨコだっこ用バックルから、わきベルトバックルをはずし、わきベルトをベルト通しから引き抜く**

3 **シート裏面の面ファスナー（3ヵ所）をはずし、子守帯（本体）からヨコだっこシートをはずす**

ヨコだっこで使うには

ヨコだっこシートの取り付けかた

●本体のヘッドサポートバックル（左右）をとめ、ヘッドサポートベルトの長さが最短になっていることを確認しておきます。

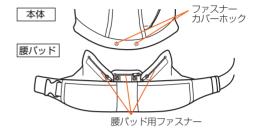
●本体の背中バックルとフロントベルトを、肩ベルトのバックルポケットに収納しておきます。

⚠警告
ヨコだっこシートを取り付けるときは、ヘッドサポートバックル、取り付けホック、股ホック、面ファスナーを確実にとめ、わきベルトをベルト通しに通してからヨコだっこ用バックルにとめてください。使用中にヨコだっこシートがはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

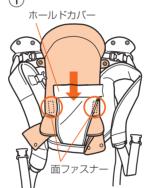
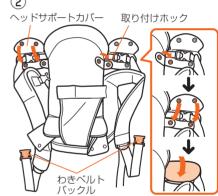
本体に腰パッドがついているときは、腰パッドを取りはずしてから、ヨコだっこシートを取り付けてください。

●腰パッドをはずすときは

ファスナーカバーホック（2ヵ所）と腰パッド用ファスナー（3ヵ所）をはずします。

1

① 子守帯（本体）のホールドカバーの下にヨコだっこシートを乗せ、左右の面ファスナー（2ヵ所）をとめる

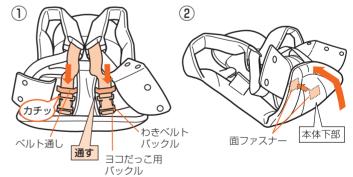
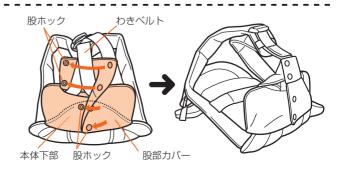
② 取り付けホック（左右2ヵ所）をとめ、左右のヘッドサポートカバーを閉じる

2

① わきベルトバックルをベルト通しに通して、ヨコだっこ用バックルにとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

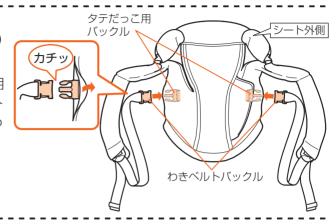
② ヨコだっこシート下部を倒して面ファスナー（1ヵ所）をとめる

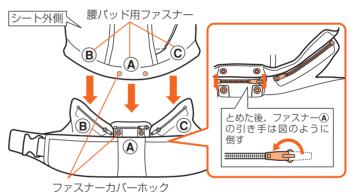
3

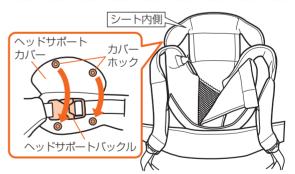
股ホック（下2ヵ所）で本体下部をとめ、2本のわきベルトをまとめて、股ホック（上2ヵ所）をとめ、股部カバーを閉じる

タテ対面だっこの準備

●ラキュピットファーストタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてご使用ください。
ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」（12ページ）をご覧ください。
●ラキュピットタイプは、開封時わきベルトと腰パッドがセットされています。手順３以降をご覧ください。

1 わきベルトバックルを、タテだっこ用バックル（左右）にとめる

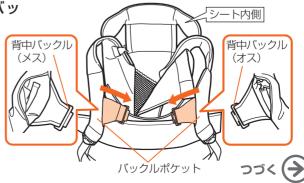
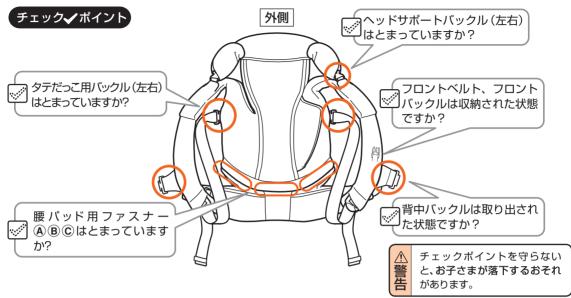
シートの内側から、タテだっこ用バックルを引き出し、わきベルトバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

2 本体と腰パッドをとめる

子守帯（本体）と腰パッドを腰パッド用ファスナー（Ⓐ Ⓑ Ⓒ）で同じ色ごとにとめ、ファスナーカバーホック（2ヵ所）をとめる。

3 左右のヘッドサポートバックルがとまっていることを確認し、2ヵ所のカバーホックをとめ、ヘッドサポートカバーを閉じる

子守帯を装着してからお子さまをだっこする場合は、左右のヘッドサポートバックルをはずしておきます。

4 バックルポケットから、背中バックルを取り出す

つづく →

※タテ対面だっこでご使用の前に、もう１度以下の点をご確認ください。

⚠警告 チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには

子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合

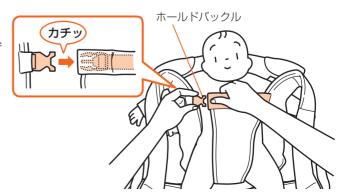
●取り付ける前に腰パッドがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。
腰ベルトの長さ調節のしかたは、「各部の調節方法」（７ページ）をご覧ください。

1 お子さまを子守帯に乗せ、両足をホールドカバーの左右に通し、両腕をヘッドサポートと肩ベルトの間に入れる

安全な場所でお子さまを乗せてください。

⚠警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。また、ホールドカバーの左右に必ずお子さまの足を通してください。お子さまが落下するおそれがあります。

2 ホールドバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

3 腰パッドを装着する

腰パッドを腰に巻き、腰ベルトバックルをとめ、「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。

負担を軽減するには、腰パッドをウエストより少し下の、腰骨のあたりに装着するのがおすすめです。使用者が快適な位置に装着してください。

4 肩ベルトの背中バックル(左右)をとめる

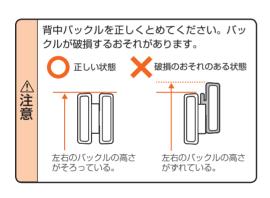
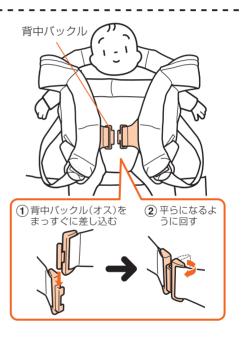
背中バックル(オス)を(メス)に差し込み、平らになるように回します。

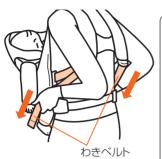
5 背中バックルと肩ベルトの輪をくぐり、肩ベルトを肩にかける

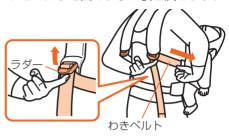
タテ対面だっこ

首すわり(4ヵ月ころ)~13kg(24ヵ月)まで

つづく

タテ対面だっこで使うには（子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合）

6 使用者の身体にフィットさせる

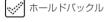
わきベルトの先端を手前に引き、余りが左右同じ長さになるように調節します。

わきベルトの余りは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

● 長くするときはラダーを指で上におこし、わきベルトを図のように引き戻します。

7 装着の状態をチェックする

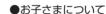
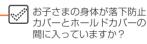
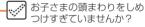
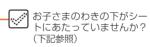
鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

●確実にとまっていますか？

- 背中バックル
- ヘッドサポートバックル（左右）
- ホールドバックル
- サイドホック
- サイドファスナー

●使用者の身体にフィットするように調節していますか？

- わきベルト（左右）
- 腰ベルト

●お子さまについて

- お子さまの身体が落下防止カバーとホールドカバーの間に入っていますか？
- お子さまの頭まわりをしめつけすぎていませんか？
- お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？（下記参照）
- お子さまの足が腰パッドにはさまれていませんか？

お子さまのわきの下がシートにあたってしまう場合

右図の場所にタオルを入れ、お子さまのお尻の高さを調節してください。

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折りたたむと、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折りたたまないときはヘッドサポートが、背の高いお子さまや眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。
※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

⚠警告
チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

⚠注意
お子さまの頭で前方の視界が妨げられないように調節してください。
また、足元が見えにくくなることがありますので、歩行には注意してください。

タテ対面だっこで使うには

子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合

●ラキュピットファーストタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてお使いください。
「ヨコだっこシートのはずしかた」(12ページ)をご覧ください。
●チェックポイント(15ページ)をご覧ください。
●取り付ける前に、腰パッドがフィットするように、腰ベルトの長さを調節しておきます。
●ヘッドサポートベルト、腰ベルトの調節のしかたは、「各部の調節方法」(7ページ)をご覧ください。

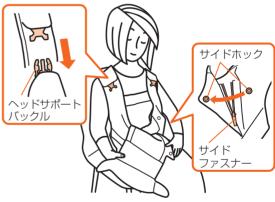
1 ホールドバックルをとめる

警告 ホールドバックルは、必ずとめたまま装着してください。お子さまが落下するおそれがあります。

2 子守帯を取り付ける

腰パッドを装着し、背中バックルをとめた状態(16ページ手順4参照)で背中バックルと肩ベルトの輪をくぐります。

わきベルトを長めに調節しておくと、お子さまを乗せやすくなります。

3 左右のヘッドサポートバックルをはずし、サイドホックとサイドファスナーを開く。

4 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所にすわった状態で、お子さまを向かい合わせに抱き上げ、子守帯に乗せます。お子さまの足をホールドカバーの左右に通します。
このときお子さまのお尻を落下防止カバーとホールドカバーの間に入れてください。

警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。)不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）

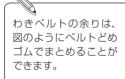
5 サイドファスナーを閉め、サイドホックをとめる

6 ヘッドサポートバックルをとめる

左右のヘッドサポートバックルをお子さまの肩の上で「カチッ」と音がするまでとめます。

7 使用者の身体にフィットさせる

左右のわきベルトの先端を手前に引き、余りが同じになるように調節します。

わきベルトの余りは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

8 装着の状態をチェックする

17ページの手順7「チェックポイント」をご覧ください。

タテ対面だっこのはずしかた

1 ラダーをおこして左右のわきベルトを長くし、肩ベルトをゆるめる

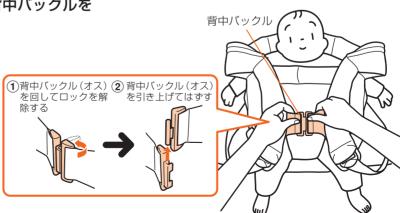
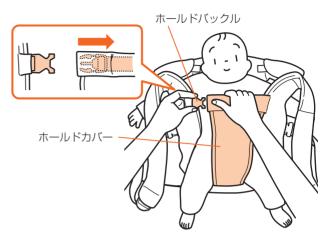
わきベルトをゆるめにくいかたは

装着した状態で、わきベルトをゆるめにくい方は、わきベルトバックルをはずしてお子さまをおろすことができます。このときは、必ず片手でお子さまの身体を支えてください。

⚠警告 お子さまの身体を支えずにわきベルトバックルをはずすと、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを安全な場所に寝かせ、肩ベルトと背中バックルの輪をくぐり抜ける

3 差し込んでいた背中バックルをはずす

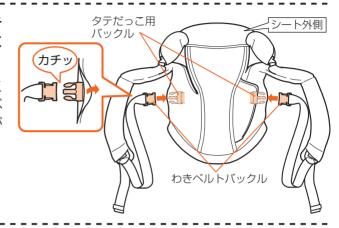
つづく

4 ホールドバックルをはずし、足と腕を子守帯から引き抜き、お子さまをおろす

5 腰パッドをはずす

腰ベルトバックルをはずし、腰パッドを使用者の身体からはずします。

タテ前向きだっこの準備

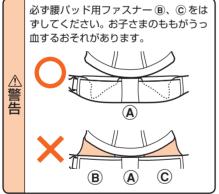
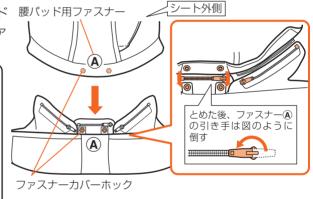
●ラキュピットファーストタイプのみ、ヨコだっこシートをはずしてご使用ください。
ヨコだっこシートをはずすには、「ヨコだっこシートのはずしかた」（12ページ）をご覧ください。
●ラキュピットタイプは、開封時わきベルトと腰パッドがセットされています。手順2を参考に、腰パッド用ファスナー Ⓑ、Ⓒ をはずし、手順3以降をご覧ください。

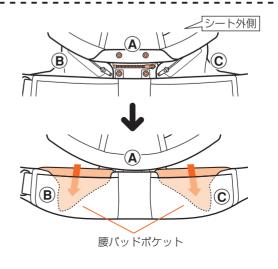
1 わきベルトバックルを、タテだっこ用バックル（左右）にとめる

シートの内側から、タテだっこ用バックルを引き出し、わきベルトバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

2 本体と腰パッドをとめる

子守帯（本体）と腰パッドを腰パッド用ファスナー（Ⓐのみ）でとめ、ファスナーカバーホックをとめます。

⚠警告

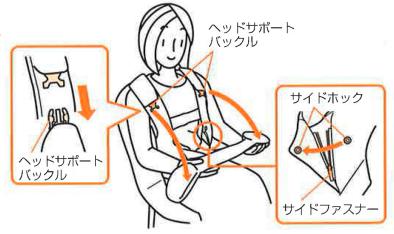
必ず腰パッド用ファスナー Ⓑ、Ⓒ をはずしてください。お子さまのももがうっ血するおそれがあります。

3 腰パッド用ファスナー ⒷⒸ を収納する

腰パッド用ファスナー Ⓑ、Ⓒ は図のように、それぞれ腰パッドポケットに収納してください。

タテ前向きだっこで使うには

※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

1 子守帯を取り付ける

「タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）」（18ページ）の手順1、2をご覧になり、はじめに子守帯を装着し、お子さまを乗せる準備をしてください。

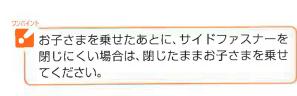
2 左右のヘッドサポートバックルと、サイドホックをはずし、サイドファスナーを開く

3 お子さまを前向きに子守帯に乗せ、ホールドカバーの左右に両足を通す

お子さまの足をホールドカバーの左右に通します。このときお子さまのおしりを落下防止カバーとホールドカバーの間に入れてください。

⚠警告 お子さまの乗せ降ろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。) 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠警告 必ずお子さまのおしりを落下防止カバーとホールドカバーの間に入れてください。お子さまが落下するおそれがあります。

4 サイドファスナーを閉じ、サイドホックをとめる

お子さまを乗せたあとに、サイドファスナーを閉じにくい場合は、閉じたままお子さまを乗せてください。

5 ヘッドサポートを折りたたみ、ヘッドサポートバックルをとめる

ヘッドサポートを外側に折りたたみます。お子さまの顔まわりをしめつけすぎないようヘッドサポートベルトの長さを調節してください。（7ページ参照）
左右のヘッドサポートバックルを「カチッ」と音がするまでとめます。

> ⚠警告
> タテ前向きだっこでご使用の際は、必ずヘッドサポートを折りたたんでください。
> お子さまの顔を圧迫し、傷害を負うおそれがあります。

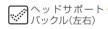
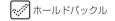
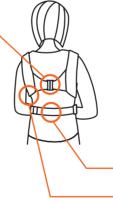
6 使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの先端を手前に引き、余りが同じになるように調節します。

わきベルトの余りは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

7 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

●確実にとまっていますか？
- ☑ 背中バックル
- ☑ ヘッドサポートバックル（左右）
- ☑ ホールドバックル
- ☑ サイドホック
- ☑ サイドファスナー
- ☑ ファスナーⒷⒸが閉じていませんか？

●お子さまについて
- ☑ ヘッドサポートが口にかかっていませんか？
かかっている場合は、お子さまの位置を調節してください。（下記参照）
- ☑ お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか？（下記参照）
- ☑ お子さまの身体が落下防止カバーとホールドカバーの間に入っていますか？

●使用者の身体にあわせてフィットするように調節していますか？
- ☑ 腰ベルト
- ☑ わきベルト（左右）

> ⚠警告
> チェックポイントを守らないと、
> - お子さまが落下するおそれがあります。
> - お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
> - お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

お子さまの口がヘッドサポートにかかってしまったり、わきの下がシートにあたってしまう場合

右図の場所にタオルを入れ、お子さまのお尻の高さを調節してください。

タテ前向きだっこのはずしかた

1 ラダーをおこし、左右のわきベルトを長くして、肩ベルトをゆるめる

わきベルトをゆるめにくいかたは

装着した状態で、わきベルトをゆるめにくい方は、わきベルトバックルをはずしてお子さまをおろすことができます。このときは、必ず片手でお子さまの身体を支えてください。

⚠警告 お子さまの身体を支えずにわきベルトバックルをはずすと、お子さまが落下するおそれがあります。

2 左右のヘッドサポートバックルとサイドホックをはずし、サイドファスナーを開ける

3 両腕と両足を子守帯から抜き、お子さまをおろす

4 肩ベルトと背中バックルの輪をくぐりぬける

5 腰パッドをはずす

腰ベルトバックルをはずし、腰パッドを使用者の身体からはずします。

おんぶの準備

以下の手順１の❶～❸は「タテ対面だっこの準備」（14ページ）手順１～３を参照してください。

●ラキュピットタイプは、開封時わきベルトと腰パッドがセットされています。手順１の❸以降をご覧ください。

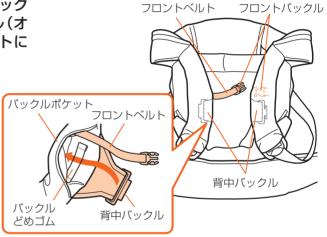
1

❶わきベルトバックルをタテだっこ用バックル（左右）にとめる
❷本体と腰パッドをとめる
❸左右のヘッドサポートバックルがとまっていることを確認し、２ヵ所のカバーホックをとめ、ヘッドサポートカバーを閉じる

2

フロントベルトとフロントバックルを取り出し、背中バックル（オス/メス）をバックルポケットに収納する

バックルポケット内のバックルどめゴムに背中バックルを通し、収納します。

おんぶで使うには

1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには」(15ページ)の手順1、2をご覧になり、子守帯にお子さまを乗せてください。

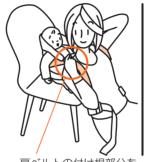
チェックポイント

- お子さまの身体が落下防止カバーとホールドカバーの間に入っていますか？
- ホールドバックルはとまっていますか？

警告 チェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。

※他の人に介添えしていただくと、より安全です。

肩ベルトの付け根部分を持ってください。

3 腰パッドを装着する

腰パッドを腰に巻き、腰ベルトバックルを「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
腰パッドが使用者にフィットするよう長さを調節します。

警告 腰パッドで、お子さまの足をはさまないように注意してください。お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

つづく

おんぶで使うには

4 フロントバックルをとめる

フロントバックルを「カチッ」と音がするまでしっかり差し込み、フロントベルトの長さを調節します。

※フロントバックルを使用しなくても、おんぶすることができます。

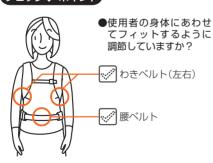
⚠注意　使用者が痛みや不快を感じたときは、フロントバックルの使用を中止してください。

5 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。

わきベルトの余りは、図のようにベルトどめゴムでまとめることができます。

6 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

⚠警告　チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

⚠注意　おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんので、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

ヘッドサポートの伸ばしかた

おんぶするときはあらかじめ、ヘッドサポートベルトの長さやヘッドサポートの高さを調節してください。
おんぶしてから使用者が調節することはできません。

ヘッドサポートに肩があたってしまうお子さまには（24ヵ月～36ヵ月）

ヘッドサポートを伸ばして使用することができます。
（おんぶのみ）

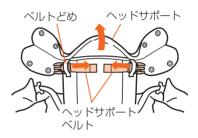
⚠警告
ヘッドサポートに肩があたらないお子さまには、ヘッドサポートを伸ばして使用しないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

ヘッドサポートの伸ばしかた（おんぶのみ）

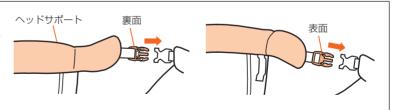
ヘッドサポート：通常の状態　　ヘッドサポート：伸ばしたとき

① 左右のヘッドサポートカバーを開き、ヘッドサポートバックルをはずす。

② ヘッドサポートベルトをベルトどめから抜き、ヘッドサポートを開く。

③ 左右のヘッドサポートバックルを、ベルトどめを通さずにとめる。

④ カバーホック（4ヵ所）をとめ、左右のヘッドサポートカバーを閉じる。

ヘッドサポートバックルは、ヘッドサポートベルトがねじれないようにとめます。

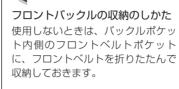
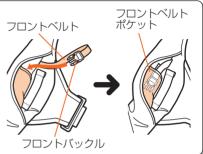
ヘッドサポートバックル（オス）は、裏面でも表面でもバックル（メス）に差し込むことができます。

おんぶのはずしかた

1 腰パッドをはずす

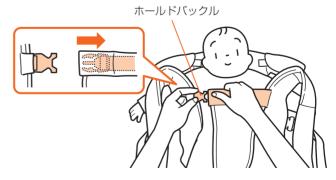
腰ベルトバックルをはずし、腰パッドを使用者の身体からはずします。

※フロントバックルをご使用の場合は、フロントバックルもはずします。

フロントバックルの収納のしかた

使用しないときは、バックルポケット内側のフロントベルトポケットに、フロントベルトを折りたたんで収納しておきます。

2 お子さまを背中からおろす

※他の人に介添えしていただくとより安全に行えます。

3 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ホールドバックルをはずす

4 両足と両腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

Q&A

Q 腰パッドをどのあたりに装着すれば良いですか。

A 負担を軽減するには、ウエストより少し下の、腰骨のあたりに装着するのがおすすめです。
使用者が快適な位置に装着してください。

Q タテだっこ・おんぶで使用する際、赤ちゃんのわきの下があたります。

A お子さまのお尻の下にタオル等を敷いて、お子さまの高さを調節してください。(17ページ参照)
わきの下が圧迫されていると、うっ血するおそれがあります。
調節しても心配な場合には、コンシューマープラザまでお問い合せください。

Q おんぶのとき、密着感が足りない気がします。

A わきベルトとヘッドサポートベルトを短く調節することで、密着感を高めることができます。(7ページ参照)

Q おんぶで使用するとベルトのあまりが長くたれ下がります。

A わきベルトはベルトどめゴム、腰ベルトは腰ベルトホルダーでまとめることができます。
(7ページ参照)

Q 腰パッドをはずして、タテだっこやおんぶをしても良いですか？

A 本製品は、腰パッドを使用することで装着時の負担を軽減しています。タテだっこやおんぶの際は、必ず腰パッドをご使用ください。

Q おんぶしてからヘッドサポートを調節できますか？

A おんぶの際には、あらかじめヘッドサポートベルトの長さを調節し、折りたたむ場合には折りたたんでから、使用してください。おんぶした後の調節はできません。

Q タテだっこ（おんぶ）のとき、腰パッドと使用者の身体の間にすき間ができてしまいます。

A 腰ベルトがゆるい状態でタテだっこ(おんぶ)すると、すき間ができることがあります。
腰ベルトの長さを短く調節して、腰パッドと使用者の身体の間に、すき間ができないようにしてください。

便利なオプション（別売り）

●フィットカバー

頭の汗やよだれを吸収し、汚れたらはずして手軽に洗濯できます。

※写真とは仕様やデザインが異なる場合があります。

●５ウェイ子守帯ケープ

ベビーカーにも使える５ウェイタイプ。
春・秋は風よけとして、寒い時期は防寒として、活躍する便利なケープです。

ベビーカーでの使用例

弊社コンビショップ（http://shop.combi.co.jp）、またはお近くの店頭で購入することができます。

お手入れ

本体のお手入れ

日常のお手入れ

●洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。

●軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

●色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。

●漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。

●ヨコだっこシートは、面ファスナー（オス）が他の洗濯物を傷つけるおそれがありますので、別に洗ってください。

●洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

●洗濯表示、生地素材については、製品本体（右肩ベルト、バックルポケット内側）に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

⚠注意　お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

点検とアフターサービスについて

●ご使用の際には、製品のほつれ、きず、やぶれ、バックルなど部品の破損がないか、確認してください。

注意　上記を 1 ヵ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

●製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ご使用中に子守帯の破損、異常、やぶれ、ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、右肩ベルトのバックルポケット内側の洗濯ラベルをご覧になって製品名・ロット No. をお知らせください。

●本製品の修理 / 部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。子守帯の場合は、お買い上げ日より 3 年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は、保護者）が、事故発生日から 60 日以内に下記までご連絡願います。

製品安全協会　東京都台東区竜泉 2 丁目 20 番 2 号
ミサワホームズ三ノ輪 2 階
TEL.(03)5808-3300

●事故の届出に必要な項目

① 事故の原因となった製品現品
・製品名称、ロット No.　・購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
・事故発生年月日　・事故発生場所　・事故発生状況
③ 被害の状況
・被害者の氏名、年齢、性別、住所
・被害の状況

コンビ製品をご購入いただいた方へ、知って得する情報です

コンビ製品＆子育て情報サイト「コンビタウン」に会員登録すると、便利でお得なサービスがいっぱいです！

【主なサービス特典】

☆お得な情報が満載のメールマガジン
アンケート募集の他、イベントやポイントプレゼントのお知らせ、お得なコンビ製品のセール情報などをメールマガジンで会員の皆さまにお知らせします。

☆ポイントを貯めて、コンビミニでお買い物
コンビ製品の所有品登録やアンケートの回答、コンテンツへの応募などでコンビタウンポイントが貯まります。
貯まったポイントはコンビミニのお買い物ポイントとして使用可能！１ポイント＝１円として使えます。
※詳しくはＷｅｂサイトをご覧ください。

●特典内容は変更されることがあります。ご了承ください。

その他にも会員ならではの特典をご用意しております。
ご入会は「コンビタウン」Ｗｅｂサイトのトップページからお願いします。

アクセスはこちら　⇒　http://www.combibaby.com/　コンビタウン　検索

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ（Customer Service Center）
受付時間：10：00～17：00（日祝日、年末年始を除く）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271　TEL.(048) 797-1000　FAX.(048) 798-6109
部品販売（相談）窓口 / 部品購入のお問い合わせとご注文　TEL.(048) 797-1001　FAX.(048) 798-6109

コンシューマープラザ（Customer Service Center）／西日本担当
受付時間：10：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL.(06) 6942-0379　FAX.(06) 6942-0302

＊ホームページでのご案内　http://www.combi.co.jp/cp/

13889602　0　1111.112

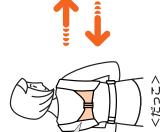
このたびは、コンビ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

⚠ 注 意

毛羽だちやすい衣服など素材によっては、わきベルトのフチがひっかかる場合があります。

コンビ株式会社

Combi ラキュピットファースト / ラキュピット

かんたんガイド

本書は、取扱説明書をより分かりやすくお読みいただくためにポイントを抜粋したガイドブックです。
取扱説明書とあわせて、ご利用ください。

コンビ株式会社のホームページで、使いかたを動画で確認することができます。
http://www.combi.co.jp/soudan/manual/DVD/index.html

⚠警告 取扱説明書の「ご使用の前に」「安全にお使いいただくために」（1～4ページ）は、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するための重要な情報です。ご使用になる前に、必ずお読みください。

ヨコだっこ 新生児（0ヵ月）～首すわり（7kg・4ヵ月ころ）まで

※ラキュピットファーストタイプのみ

（よく使う部品のなまえとそのはたらきです）

ホールドバックル
お子さまの落下を防ぐため、必ずとめます。

ラダー
わきベルトの長さを調節します。
（取扱説明書８ページ参照）

ヘッドサポートベルト
左右とも長さを最短にします。

ヘッドサポートバックル
お子さまの落下を防ぐため、左右とも必ずとめます。

※使用しない背中バックル、フロントバックルはバックルポケットに収納します。

ヨコだっこの準備（取扱説明書８ページ参照）

1. 子守帯にお子さまを乗せ、両足を通す
2. ホールドバックルをとめ、両腕を通す
3. 肩ベルトを肩にかける
4. お子さまを支える

ホールドベルトの長さを調節します。
（取扱説明書９ページ参照）

⚠警告 ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

✓ 取扱説明書10ページ チェックポイント参照

⚠警告 お子さまの頭部を足およびお尻より高い位置にして必ず後頭部を手で支えてください。不安定な状態でだっこすると、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

だっことおんぶのきりかえ

おんぶ 首すわり（4ヵ月ころ）～15kg（36ヵ月）まで

おんぶの準備（取扱説明書27ページ参照）　はじめに、腰パッドがフィットするよう腰ベルトの長さを調節しておきます。

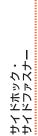
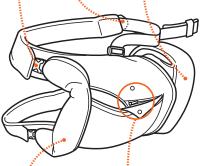
1. 子守帯にお子さまを乗せ、両腕と両足を通しホールドバックルをとめる
2. お子さまを背負う
3. 腰パッドを装着する
4. フロントバックルをとめる
5. わきベルトを調節して、身体にフィットさせる

足をはさまないように注意！
腰パッドにお子さまの足をはさまないように注意してください。
お子さまの足がうっ血するおそれがあります。

✓ 取扱説明書29ページ チェックポイント参照

⚠警告 チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

タテだっこ・おんぶ （よく使う部品のなまえとそのはたらきです）

ヘッドサポート
お子さまの頭を支えます。折って使用するとお子さまの視界が広がります。

サイドホック・サイドファスナー
お子さまの落下を防ぐため、必ずとめます。

ヘッドサポートバックル
お子さまの落下を防ぐため、左右とも必ずとめます。

ラダー
わきベルトの長さを調節します。

腰パッド
負担を軽減するには、ウエストの少し下の腰骨あたりに装着するのがおすすめです。

タテ対面・前向きだっこのとき

フロントベルトポケット(内側)
使用しないフロントベルトを収納しておきます。

ベルトまとめゴム
わきベルトのあまりをまとめておきます。

ホールドバックル
お子さまの落下を防ぐため、必ずとめます。

ホールドカバー
お子さまの体を支えます。

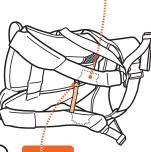
落下防止カバー
お子さまの落下を防ぎます。

背中バックル
タテだっこのとき、お子さまの重さを背中面に分散します。

おんぶのとき

フロントバックル
おんぶのとき、肩ベルトのフィット感を高めます。

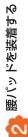
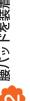
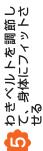
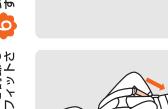
バックルポケット(内側)
使用しない背中バックルを収納しておきます。

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。
コンシューマープラザ（Customer Service Center）
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271　TEL.(048)797-1000　FAX.(048)798-6109
部品販売(相談)窓口 / 部品購入のお問い合わせとご注文　TEL.(048)797-1001　FAX.(048)798-6109
受付時間　10：00〜17：00　日祝日・年末年始を除く

138896190　　11.12

タテ対面だっこ （子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合）
首すわり(4ヵ月ころ)〜13kg(24ヵ月)まで

※「タテ対面だっこ(子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合)」と「タテ前向きだっこ」については取扱説明書をご覧ください。

タテ対面だっこの準備（取扱説明書 14ページ参照） はじめに、腰パッドがフィットするよう腰ベルトの長さを調節しておきます。

1 子守帯にお子さまを乗せ、両腕と両足を通し、ホールドバックルをとめる

2 腰パッドを装着する

3 背中バックルをとめる
（取扱説明書 16ページ手順4参照）

4 背中バックルと肩ベルトの輪をくぐり、肩ベルトを肩にかける

5 わきベルトを調節して、身体にフィットさせる

6 装着の状態をチェックする

わきベルトを長くするときは
ラダーを指で上におこし、わきベルトを図のように引き戻します。

✔ 取扱説明書 17ページ チェックポイント参照

⚠警告
チェックポイントを守らないと、
- お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。
- お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。